

島根原子力発電所の運転状況（平成28年10月分）

中国電力担当分

【1号機】：自主的な点検のため、平成22年3月31日に発電停止。平成27年4月30日営業運転終了。  
 【2号機】：第17回施設定期検査のため、平成24年1月27日に発電停止

1 運転保守状況（中電データ）

号機	炉型	定格電気出力	営業運転開始日	10月の設備利用率(%)	10月の発電電力量(万kWh)	11月17日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	—	—	第29回施設定期検査中(H22.11.8～)	別紙1のとおり
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	0.0	0	第17回施設定期検査中(H24.1.27～)	別紙1のとおり ※運転再開時期未定

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象（10月20日～11月17日）

該当なし

3 安全協定第10条で規定する異常事象（10月20日～11月17日）

該当なし

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

10月末現在

	10月末保管量(前月比増減量)	10月発生量	10月処理量 <sup>※2</sup>	前月末保管量
ドラム缶保管量 (本)	29,649 (▲115)	233	348	29,764
その他の種類の保管量 (本相当)	1,771 (▲40)	0	40	1,811
合計	31,420 (▲155) <sup>※1</sup>	233	388	31,575

※1：保管能力：45,500本

※2：処理方法：減容処理

焼却処理

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ） 10月末現在（単位：体）

	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	722	1,956	2,678
貯蔵容量	1,140	3,518	4,658
管理容量		2,818	

管理容量＝全容量－（1炉心分<sup>※3</sup>＋約1取替分<sup>※4</sup>）

※3：2号機 560体

※4：2号機 140体の場合

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。

（単位：Bq）

	放射性気体廃棄物（10月）		放射性液体廃棄物（10月）	
	放射性希ガス	放射性ヨウ素 (I-131)	トリウムを除く	トリウム
原子炉施設合計 (今年度累計)	ND <sup>※1</sup> (ND)	ND <sup>※2</sup> (ND)	ND <sup>※3</sup> (ND)	8.5 × 10 <sup>8</sup> (1.9 × 10 <sup>10</sup> )
号機別 <sup>※5</sup>				
1号機	ND <sup>※1</sup>	ND <sup>※2</sup>	ND <sup>※3</sup>	8.5 × 10 <sup>8</sup>
2号機	ND <sup>※1</sup>	ND <sup>※2</sup>	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値	8.4 × 10 <sup>14</sup>	4.3 × 10 <sup>10</sup>	7.4 × 10 <sup>10</sup>	7.4 × 10 <sup>12</sup> <sup>※4</sup>
サイトバンカ建物	—	ND <sup>※2</sup>	—	—

※1：検出限界値 約2 × 10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 以下

※2：検出限界値 約7 × 10<sup>9</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 以下

※3：検出限界値 約2 × 10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 以下  
(<sup>60</sup>Coで代表)

※4：年間放出管理の基準値を示す。

※5：液体廃棄物については放水口別内訳

(排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値)

(単位：cps)

		10月分		先月の実績		安全協定で定める 通報基準値		
		最小	平均	最大	最小		平均	最大
排気筒モニタ	1号機	5.0	5.8	6.6	4.9	5.8	6.7	500 <sup>※6</sup> (1,000 <sup>※7</sup> )
	2号機	2.4	3.1	3.6	2.6	3.1	3.6	500 <sup>※6</sup> (1,000 <sup>※7</sup> )
放水路水モニタ	1号機	1.9	2.2	2.6	1.9	2.2	3.1	7 <sup>※6</sup> (70 <sup>※7</sup> )
	2号機	3.6	4.2	4.8	3.6	4.2	4.8	8 <sup>※6</sup> (80 <sup>※7</sup> )

※6：この状態が10時間続くとき

※7：この状態になったとき

7 モニタリングポストの測定結果(10月分) (敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム) (中電データ、県データ) (単位：nGy/h)

	敷地境界モニタリングポスト (中電管理分)						環境放射線情報システム (県管理分) <sup>※8</sup>													
	①	②	③	④	⑤	⑥	西浜	御津	古浦	深田北	片匂	北講武	佐々本郷	末次	大芦	上講武	手結			
平均値	23	29	33	24	32	30	47	33	29	21	26	28	32	35	37	38	43			
最高値	41	45	53	42	52	51	71	50	47	41	46	49	52	48	58	58	60			
月平均の変動幅	19~25	23~30	30~40	21~27	28~36	26~32	※10						50	57	64	62	59	70	74	69
過去の最大値	84	86	115	105	130	100	164	129	111	106	112	114	126	99	127	120	111			

	環境放射線情報システム (県管理分) <sup>※8</sup>												
	手結南	池平	名分	魚瀬	上大野	東長江	比津	持田	大野	加賀	出雲	安来	雲南
平均値	28	27	30	35	41	37	37	41	32	32	※11	38	29
最高値 <sup>※9</sup>	48	47	47	53	63	60	57	63	53	50		55	47
平常の変動幅(上限)	60	60	58	63	77	74	66	76	70	61	63	69	55
前年度までの最大値	91	99	87	92	130	106	92	126	102	90	95	101	80

※8：県管理分の測定結果は速報値であり、島根原子力発電所周辺環境放射線等測定技術会にて確定

※9：平常の変動幅(上限)を超えた値は、降水の影響と推定される。

※10：平成26年度に局舎を更新し、平成27年3月から測定開始のため、平常の変動幅は未記載

※11：測定機器調整中のため欠測

(参考) 定例プレスでは掲載しない情報の例示

(1) 環境放射線及び温排水測定結果・・・「環境放射線等調査結果報告書」(四半期報)で公表する。

(2) 地震発生時の発電所の状況連絡・・・震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。

担当：島根県 防災部 原子力安全対策課  
 電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930  
 中国電力(株) 島根原子力本部 広報部  
 電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514